



アリは何種類いるの

世界中で約4000種

アリは全世界に約4000種、日本には、約150～200種ほどがいます。ほとんどのアリは、針をもっていませんが、ハリアリ、サスライアリは針をもち、針にはハチと変わらない毒があります。

よく見られるアリ

庭でよく見られるのは、クロオオアリ、クロヤマアリ、オオズアカアリなどです。アミメアリはうす茶色の小さなアリで、家の中にまで入りこみ、よく、砂糖つぼにたかります。山の林には、エゾアカヤマアリのアリ塚が見られます。直径60センチメートルほどの、マツなどの落ち葉の山が巣です。

巣とアリの社会

ほとんどのアリは、くさった木や土の中に大きな巣を作り、1ぴきの女王アリを中心に集団で生活しています。えさを集める係、幼虫の世話係、門番、兵アリと決まった仕事をしています。

めずらしい習性をもつアリ

種類が多いぶん、アリのくらしぶりには、さまざまです。クロオオアリは、巣の中にクロシジミの幼虫をかい、幼虫の出すみつをなめます。サムライアリは、はたらきアリとしてはたらかせるため、クロヤマアリの巣から、幼虫やまゆを、ぬすみ出します。外国には、もっと変わったものもいます。アマゾンにすむハキリアリは、キノコをさいばいするアリとして有名です。木の葉を巣の中に集め、葉にキノコをはえさせて、それを食べます。

(監修・中山 周平)

